

まちづくりアドバイザー登録票

ふりがな	かくだて まさひで
氏名	角館 政英
所属(勤務先)	まちなみ景観課へお問い合わせください
連絡先	
専門分野	照明計画 まちづくり
支援可能事項	まちづくりの進め方(ワークショップなど)について まちづくりの事業手法や制度について まちづくりの計画・ルールづくりについて 建築制限、開発制限について 不動産鑑定、税務、法律について 防災まちづくりについて その他(照明計画(都市環境照明、建築照明))(防犯性のあるまちづくり)
支援可能事項における実績等	受賞歴 IALD 建築照明デザイン賞優秀賞受賞 IIDA 国際照明デザイン賞受賞 ディスプレイデザイン賞優秀賞 JCD デザイン賞優秀賞 グッドデザイン賞 SDA 賞など多数
論文その他の実績等	論文 照明学会東京支部大会 横澤稜 小林茂雄 角館政英 H30 優秀研究賞 「道路と建物とポイドを一体的に計画した街路照明とその評価 - 気仙沼市駅前商店街」 日本建築学会技術報告集 小林茂雄 角館政英 西森陸雄 (59), 299-302, 2019-02 「伊豆半島熱川温泉を対象とした地域観光と津波避難を両立させる夜間光環境の提案」 日本建築学会技術報告集 小林茂雄 角館政英 阿部俊彦 (58), 1097-1100, 2018-10 「宮城県気仙沼市八日町の街並み特有性と高台避難の向上を目指した光環境整備の提案」 日本建築学会学術講演梗概集 平間隆玄 角館 まさひで 勝亦達夫 吉澤望 都市計画 (2018), 1165-1166, 2018-07-20 「小布施町における夜間景観形成のための照明計画の検討」 住総研研究論文集 小林茂雄 角館政英 44(0), 233-241, 2018 「地域の景観固有性を活かした避難誘導照明の実践」 日本建築学会技術報告集 小林茂雄 角館政英 阿部俊彦 24(56), 363-366, 2018 「宮城県気仙沼市における沿岸風景の可視化と避難方向の認識を両立する光環境の提案」 天王寺公園エントランスエリア「てんしば」における照明計画の実施 照度基準から照明性能計画の実現 日本建築学会学術講演梗概集 小林茂雄 角館まさひで 22(52), 1169-1172, 2016-10 「避難路確保と風景の継承を両立させた福島県久之浜町の夜間光環境整備の提案」 照明学会東京支部大会 寺崎朋美 小林茂雄 角館政英 H27 最優秀研究賞

「福島県久之浜町の景観固有性を活かした避難照明社会実験」
 照明学会誌投稿 小林茂雄 角館まさひで 99(2), 67-73, 2015-02

「仮設建築群地域における避難誘導照明と屋外環境照明の整備: - 岩手県陸前高田市を対象として - 」
 住総研研究論文集 小林茂雄 角館まさひで 前博之 "JUSOKEN" (41), 13-23, 2014

「夜間津波からの自主避難を誘導する光環境の調査と構築: 岩手県釜石市と陸前高田市を対象として」
 照明学会誌投稿 角館まさひで 塚本由晴 貝島桃代 時田隆佑 小林茂雄 98(4), 181-185, 2014-04-01

「照明性能計画を採用した北本駅西口広場計画: まちづくりから整備まで」
 照明学会誌投稿 小林茂雄 角館まさひで 若山香保 遠藤新 西森陸雄 98(4), 176-180, 2014-04

「高台避難誘導を促進する「まちのあかり」: 照明社会実験から始める整備計画」
 日本建築学会技術報告集 小林茂雄 鈴木竜一 角館まさひで 塚本由晴 貝島桃代 20(40)、pp169-172,2014.2

「渋谷区立宮下公園における要求性能に基づいた低照度光環境の計画と評価」
 照明学会誌投稿論文 前博之 角館まさひで 小林茂雄 97(11), 721-727, 2013-11-01

「夜間津波発生時の高台避難を支援する光環境整備-岩手県釜石市を対象として-」
 照明学会講演論文集 角館まさひで 若山香保 中島直人 遠藤新 2013

「高台避難誘導環境整備からのまちづくり-釜石における高台避難誘導光環境整備実施に向けて-その1、その2」
 日本建築学会東日本大震災2周年シンポジウム 角館まさひで 秋田典子 遠藤新 中島直人 小林茂雄 前博之 2012.03

「釜石における光環境整備への提案-照明仕様設計から照明性能設計への移行-」
 日本建築学会技術報告集 小林茂雄 鈴木竜一 角館まさひで 18(38),pp.233-238,2012,02

「分散配置型の低照度街路照明の整備と評価 岐阜県白川村平瀬地区での実践」
 照明学会東京支部大会 前博之 小林茂雄 角館政英 H23

「釜石における光環境整備への提案」
 日本建築学会学術講演梗概集 ウィチエンプラディトポンサン 角館まさひで F-1,pp.1021-1022,2011-07-20

「中国の歴史的な町並みにおける観光イベントを通じた考察: 西塘の国際低炭生態灯光芸術展を事例に」
 日本建築学会学術講演梗概集 小牟田桂吾 角館まさひで 鈴木竜一 上野佳奈子 小林茂雄 F-1,pp.285-286,2011-07-20

「東京都町田市原町田地区における照明社会実験: 夜間街路の防犯性・省エネルギー性について」
 学位論文(博士・工学) 角館まさひで 2009.08

「街路空間における防犯性・安全性を高めるための照明環境に関する研究」
 日本建築学会学術講演梗概集 神宮彩 小林茂雄 角館まさひで F-1,3-4,2007.07

「街路歩行者の安心感を向上させる建物開口部及び周辺部の光環境の提案-岐阜県大野郡白川村平瀬を対象として」
 照明学会誌投稿 角館まさひで 他 91(6), 302-311, 2007-06-01

「照明デザイナーの考え方」(<特集>空間デザインのための照明用語と手法)
 照明学会誌投稿 名取大輔 吉ヶ江雅利 小林茂雄 角館まさひで 2007

「場所の認知から見たイルミネーションのあり方に関する研究-横浜市の山手西洋館を対象として」
 照明学会誌投稿論文 海藤哲治 角館まさひで 小林茂雄 90(4), 248-251, 2006-04-01

「光によるまちづくりのための住民参加ワークショップ: 富山市八尾町での奮闘記(楽しいあかりのヒント)」
 照明学会誌投稿 海藤哲治 小林茂雄 角館まさひで 2005

「都市空間における光環境の実践-富山市八尾町を対象として」

人間-生活環境系シンポジウム報告集 角館まさひで 川島勇 本村洋 関口克明 27, 33-36, 2003-12-04

「夜間街路における新たな光環境の事例：岩手県大野村まちづくり整備」

照明学会講演論文集 永井俊介 関口克明 川島勇 角館まさひで 36,98-99,2003-08

「危険予測からみた交差点の光環境の在り方に関する研究」

日本建築学会学術講演梗概集 野中太郎 北沢猛 遠藤新 関口克明 角館まさひで 鈴木清久 小林憲治 川島勇 F-1,37-38,2002-06

「岩手県大野村の中心地区まちづくりにおける光環境整備の実践」

照明学会誌投稿 角館まさひで 84(12), 917-920, 2000-12-01

「さいたま新都心東側交通広場歩行者デッキの光環境計画」

照明学会誌投稿 角館まさひで 竹内昌義 82(1), 35-37, 1998-01-01

「NHK 長野放送会館の照明(<特集>長野オリンピック)」

人間-熱環境系シンポジウム報告集 吉田燦 重栖幹夫 吉田敬一 栃原裕 蜂巢浩生 角館まさひで 11, 118-121, 1987-12-04

「さまざまの日常生活要因による熱適応障害の研究(1)：血管拡張剤の耐寒性に及ぼす影響の検討」

日本建築学会学術講演梗概集 角館まさひで 吉田燦 杉山知之 江口浩雄 D,275-276,1987-08

「身体障害者の温熱環境に関する研究 XI 女子脊損者を中心として」

著書・掲載

照明学会誌、建築雑誌

日経アーキテクチャ、新建築、住宅特集、建築文化、SD

建築技術、商店建築、ランドスケープデザイン、店舗デザインハンドブック

Casa BRUTUS、コンフォルト、ソトコト、リビングデザイン

国づくりと研修、レジャー蚕業

読売新聞、朝日新聞、NHK、徳島テレビ、富山テレビなど

活動

2007年～ 東洋大学非常勤講師 武蔵野大学非常勤講師 相模女子大学非常勤講師

1997年～ 特別講義（東京電機大学、日本大学、京都造形芸術大学、関東学院大学、芝浦工業大学、東京工芸大学、東京理科大学、九州大学、金沢美術工芸大学、デジタルハリウッド）

1997年～ 千代田区景観アドバイザー 静岡市まちづくりアドバイザー 静岡市景観アドバイザー 気仙沼市コミュニティ形成支援専門家 北本市観光協会観光アドバイザー 世田谷区まちづくり専門家 品川区まちづくり専門家 浦安市まちづくりアドバイザー

1997年より講演会（NU フォーラム、JIA 群馬、建築家フォーラム、東京大学都市景観デザイン

さいたま景観協議会、石川県建築士会、農林水産省美しい村づくり 徳島県光環境 など）

1997年 徳島県観光アドバイザー

1998年 川越市街並委員会

2004年 社団法人日本建築学会 「道」設計協議審査委員

2005年 社団法人照明学会 市街地における交差点の光環境の調査改善委員

2006年 社団法人照明学会 照明デザイン用語調査委員

その他PR事項

安全で安心な、美しいまちづくりを目的とします。

街全体の光環境の考え方の中で、各地域の空間構成を読み解き、街の安全性を重視した光によるまちづくりを行います。「歩ける・歩けない」「見える・見えない」といった身体的概念に基づく光や、防犯性のある光、交通安全のための光など、機能照明を考慮した照明計画をします。それぞれの街の特性を活かした、安全で安心なまちづくりをすることで、その街の「らしさ」がにじみ出され、そこにしかない美しい夜の景観の形成へと繋がっていきます。そして、その街に暮らす人々や、街を訪れる人々の双方にとって、より印象に残る街となります。

以下のキーワードを基に、光のまちづくりを行います。

安全に、安心して歩行できる光

人がつまづかないで安全に歩くことができる光を配慮します。路面が平らな場所では、人は路面が見えなくとも容易に歩くことが出来ます。その場合、路面が明るいことよりも、コーナーやカーブ部分などに誘導効果のある光が存在することの方が安心出来ます。また、段差があるような場所では、段差がしっかりと認識出来るような光のサインを配慮することが重要となります。

防犯性のある光

夜間、街路を安全に、安心して歩行するために大切なことは、ただ「明るい」ということではなく、不安を感じる箇所が「見える」「分かる」ということです。さらに、窓灯りや玄関灯などの人気を感じる光があることで、安心感が向上します。また、夜の比較的人が多い時間帯には「街の雰囲気優先した演出的な光」を、人が少なくなる深夜には「防犯性の高い光」を配置し、人のアクティビティーに合わせた光のオペレーションを行います。それは、安全・安心に加えて光の省エネルギーにも繋がっていきます。

交通安全のための光

従来の夜間道路照明は、道路上の照度や輝度を上げ、均一に街路空間を明るくする計画が主流でした。そこで、「危険予知」という観点から交差点を始めとする道路の光環境を見直します。ドライバーがいかに歩行者の行動をいち早く察知できるかということの主眼において、交通事故発生の予測を促す光環境を創り出します。それは、交通安全に繋がると同時に、夜間における街のランドスケープががらりと変わっていく可能性をも示唆しています。

都市防災に対応した照明システムの構築

都市空間としての非常照明の提案をします。災害時における道路照明において、非常灯・誘導灯などの提案をします。

統一したあかり

街全体の照明手法や光源を統一することで、街全体の景観が統一されます。統一した夜の光環境は、街を印象付ける重要な要素のひとつとなり、この街に生活する人々にとっても、より愛着の湧く街となります。人と街と光が一体となるようなまちづくりを目指します。

照明コントロール

照明のオペレーションシステムは、防犯性の向上や省エネルギーはもとより、夜の街に表情を与えることとなります。

省エネルギー

上記のような照明計画をすることによって、結果的に光の省エネルギーへと繋がります。例えば、一般的な街路照明に比べて光束数や電力値が小さな光源を用いた場合でも、機能的な照明計画をすることで、歩くという性能や防犯的な観点から一般的な街路灯と同等の効果を得ることが出来ます。また長寿命の光源を使用することでメンテナンスの人手も省エネともなります。

あかりを手法としたまちづくりを行う利点のひとつとして、住民の方々に解りやすく、共通の言語を持つことができるということが挙げられます。また、あかりは比較的簡単に実験し確認することが可能です。まちづくりにおけるあかりの提案は、官民の境界を飛び越え、お互いに影響しあってこそ効果が発揮されます。また、あかりを一度に整備するのではなく、実験を行いながら段階的に整備し、住民の方々の合意を得ながら一步一步進めていくことも重要です。官民や住民同士が協同の理念に基づいて、自主的かつ主体的なまちづくりを行うことは、今後の活動の規範ともなるはずで